

令和4年1月11日(火)



本日、積雪時の避難訓練を実施しました。冬季は体育玄関から除雪されている校舎北側駐車場に避難します。

教頭が火災発生場所の確認から火事ぶれをし、直接避難を促したことで、子どもたちはより早く屋外に避難することができました。

校長からは、冬季の火災発生時の避難について、①校舎内を避難中に、②校舎から出て避難場所に移動中に、③避難場所に到着した後のことを考えて、それぞれ気を付けなくてはならないことを話しました。

①については、大阪の雑居ビル放火事件に触れ、一酸化炭素中毒にならないよう、マスクに加えてハンカチで口を覆いながら避難することを指導しました。

②については、体育館の軒下に迫り出した雪が落ちてこないか頭上に注意するとともに、滑りやすくなっている場所がないか足元にも注意して歩くことを指導しました。

③については、今回は訓練なので事前に防寒着を着て避難しましたが、実際は防寒着を着ないで避難し、その後西部地区公民館まで移動しなくてはならない可能性もあります。日頃から、防寒着を着なくともできるだけ温かい服装を心がけるように指導しました。

その後、積雪時の登下校の仕方についても、3枚の写真を見ながら気を付けなくてはならないことを子どもたちが考える場面を、生徒指導担当教諭につくってもらいました。

積雪は3学期一杯続くと予想されます。子ども一人一人が、積雪時の身の回りの危険に気付き、自ら考え、安全に行動できるように見守ってまいります。

令和4年1月21日（金）



2月13日（日）の町小学校スキー大会に向けて、今週からクロスカントリースキーの放課後練習が始まりました。

月曜日の午前中に、どんでん平スノーパークで働いていらっしゃる保護者の方が、お休みを利用してグラウンドをスノーモービルで整備してくださいました。

連日の降雪により練習コースが新雪で埋もれてしまうため、放課後練習のために毎日職員がスノーモービルでグラウンドを整備しなくてはなりません。

そのような苦勞を吹き飛ばしてくれるかのように、子どもたちは嬉々として放課後練習に励んでいます。飯豊町内の小学校の中でも、特に雪深い手ノ子小学校に通う子どもたち。グラウンドでクロスカントリースキーができることを、学校の自慢としています。

令和4年1月25日（火）



昨日24日（月）の5・6年生の総合的な学習の時間に、山形大学理学部の栗山先生にご来校いただき、SDGsの出前授業を行っていただきました。内容は、11月に山形大学のSCITAセンターで小中学生を対象に行った、プラスチックのリサイクルについて学ぶワークショップです。

はじめに、子どもたちは、身近にあるプラスチックが、ポリエチレンテレフタレート（PET）、ポリプロピレン（PP）、ポリエチレン（PE）、ポリスチレン（PS）の4種類に分けられることを、ビニール袋などの具体物で確かめました。また、アメリカではさらに細かく7つに分類され、1～7の番号でリサイクルごみとして分別されていることなどを教えていただきました。

次に、子どもたちは、理学部の学生さんが作成したオンライン用の動画を視聴しながら実験しました。実験キットは、A～Dのプラスチックと水、食塩水、エタノール溶液です。密度の違う4種類のプラスチックを、密度の違う3種類の液体の中に入れ、浮くか沈むかでプラスチックの種類を当てていく実験です。

最後に、子どもたちは、この実験と同じ方法とでペットボトルとキャップとラベルを分別している米沢の工場や、プラスチックごみを魚と一緒に誤飲してしまい苦しんでいる海鳥を助けている外国の生物保護団体の映像を、栗山先生に見せていただきました。

総合的な学習の時間の探究サイクルをもう1回して、SDGsの学習に生かしてほしいと思います。